

2025年11月21日

株式会社日立システムズエンジニアリングサービス

LGBTQIA+に関する取り組みを評価する「PRIDE 指標 2025」ゴールド認定を受賞

性的マイノリティを含めたすべての従業員が働きやすい職場づくりを継続して実施

work with Pride



株式会社日立システムズエンジニアリングサービス(以下、日立システムズエンジニアリングサービス)は、LGBTQIA+^{*1}などの性的マイノリティに関する取り組みの評価指標「PRIDE 指標 2025」で、評価基準である 5 つの指標すべてを満たしていると評価され、ゴールド認定を受賞したことをお知らせします。

*1 LGBTQIA+：レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クイア／クエスチョニング、インターフェックス、アセクシュアルなどの性的マイノリティの総称

日立システムズエンジニアリングサービスの取り組み

日立システムズエンジニアリングサービスでは、企業理念および経営ビジョンに基づいて「人権方針」を定めるとともに、「行動規範」の中で「性的指向」に対する差別の禁止を明文化しています。

それに従い、会社制度の「家族」の定義に「同性パートナー」を追加し、配偶者に関する制度の適用を可能にするなど社内制度の整備、「社内人権問題相談窓口」の設置など従業員が気軽に相談や問い合わせができる環境づくり、日立グループ 4 社で制作した「職場における LGBT ハンドブック」の活用や ALLY^{*2} 賛同者への ALLY ステッカー配布による ALLY の見える化など性的マイノリティの理解を促進する活動といった、さまざまな取り組みを行っています。

*2 ALLY(アライ)：「味方」の意味。日立システムズエンジニアリングサービスでは、LGBTQIA+をはじめ、ダイバーシティに関する社会的課題について、自分ごととして捉え、その解決に向けて動く人を表す。

受賞における評価ポイント

- ・2025年6月の「PRIDE 月間」に合わせて社内イントラや全社通知にて LGBTQIA+に関する情報を発信。
- ・従業員へ社外イベント「Tokyo Pride 2025」を周知して参加者を募集。
- ・ERG（当事者・ALLY 同士のコミュニティ）の設置および社内へ周知。
- ・採用面接官やリクルーターおよび昇格者(課長職、技師・主任職)に対し、LGBTQIA+に関する教育の実施。

今後の取り組み

日立システムズエンジニアリングサービスは、今後も多様な働き方を支援し、従業員ひとりひとりがいきいきと最大限の能力を発揮することができる環境づくりを行います。また新たな取り組みとして、LGBTQIA+を含むダイバーシティの推進を目的に、「D&I かながわメンバーズ」^{*3}へ加入したことで、活動の幅を広げてまいります。

*3 D&I かながわメンバーズ：ジェンダー平等を始めとする D&I（ダイバーシティ & インクルージョン）の活動を推進することを目的に、神奈川県が主催する事業（<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/x2t/dikanagawa.html>）



「PRIDE 指標」について

<https://workwithpride.jp/pride-i/>

日立システムズエンジニアリングサービスの人権の尊重について

https://www.hitachi-systems-es.co.jp/sustainability/human_rights/index.html

日立システムズエンジニアリングサービスについて

日立システムズエンジニアリングサービスは、多彩な人財と先進の情報技術を組み合わせた IT サービスを通じて、お客さまと社会のニーズに応え、持続可能な社会の実現に貢献します。日立グループの一員として、日立の先進的なデジタル技術、業務ノウハウ、知識が蓄積された Lumada 事業を展開し、お客さまの DX 推進をサポート。生成 AI やデジタル技術を活用した現場業務の効率向上、セキュリティ侵害の脅威への対応、データセンター運用やお客さまの IT システム運用などのサービス提供だけでなく、お客さまやパートナー企業との協創によって、社会やお客さまの課題を解決します。

詳しくは、<https://www.hitachi-systems-es.co.jp> をご覧ください。

お問い合わせ先

株式会社日立システムズエンジニアリングサービス

お問い合わせ Web フォーム

<https://www.hitachi-systems-es.co.jp/contact/index.html>